



報道関係者各位

平成25年7月22日

壮大な山車と共に笛や太鼓の音色が鳴り響く

弘前ねぶたまつり 8月1日～7日開催

青森県弘前市など他3団体主催する「弘前ねぶたまつり」が、今年も8月1日から7日にかけて開催されます。弘前ねぶたまつりは、最大9メートル超の大型ねぶたから子供用の小さなサイズまで、大小様々なねぶたが運行されます。

ねぶたの後ろには笛や太鼓の一団が続き、勇壮な囃子を響かせて中心市街地を練り歩きます。また大型ねぶたが電線や看板をかわしていく姿、そして重量何トンもあるねぶたの歩みをとめることなく、汗にまみれて押し引き回していく漢（おとこ）達の姿も必見です。



開催期間：平成25年8月1日（木）～8月7日（水）

開催時間：8月1日～4日 19時00分～ 土手町コース

8月5日・6日 19時00分～ 駅前コース

8月7日 10時00分～ 土手町七日日コース

【お問い合わせ先】 弘前市経営戦略部広聴広報課 田澤

〒036-8551 青森県弘前市上白銀町1-1

TEL：0172-35-1194 FAX：0172-35-0080

http://www.city.hirosaki.aomori.jp/city_promotion/



「弘前ねぶたまつり」

弘前ねぶたまつりは、青森県弘前市で毎年8月1日から7日にかけて開催される弘前四大まつりのひとつです。「ヤーヤドー」の掛け声、笛や太鼓の音色とともに運行します。総数約80台の山車には、三国志や水滸伝などの武者絵が描かれています。

「ねぶた」のはじまりの由来は諸説あり、忙しい夏の農作業の妨げとなる眠気や怠け心などを流す、「眠り流し」という農民行事から生まれたと言われています。また「ねぶた」の語源も、この「眠り流し」から「ねむたながし」「ねむた」「ねぶた」と転訛したのではないかとされています。

昭和55年（1980）1月には重要無形民俗文化財に指定されました。

現在ねぶたは、大きく分けて、鏡絵（前）の雄姿と見送り（後）の幽玄さが対照的な「扇ねぶた（扇形）」、伝統ある豪華絢爛な「組



ねぶた（人形型）」の2種類が運行しています。

運行は、団体毎に順番に登場します。前燈籠、前ねぶた、などに続き、本ねぶたが登場し、その後に笛や太鼓などの囃子が登場します。

ねぶた燃える

なぬかびおくり

ねぶたまつりの最終日7日目を「なぬかび」と言います。一昨年から、ねぶたを燃やしてまつりのフィナーレを飾る「なぬかびおくり」というイベントが開催されています。岩木川の河川敷の土手には燃えるねぶたを見守るようにねぶたが並び、その中でねぶたが勢いよく炎上します。

イベントでは、ステージイベントがある他、多数の屋台も出店します。



【日 程】平成25年8月7日（水曜日） 午後5時～8時30分

【場 所】岩木川河川敷（茜橋近く）

【プログラム】午後5時～ 土手にねぶたを展示、ステージイベントスタート
午後7時～ 「ねぶたながし」などセレモニー
午後7時30分～ 「ねぶたもやし」